

ASEAN加盟国の素顔

～ 個性あふれる10カ国 ～

ひと口にASEANといっても、加盟10カ国は国土の広さ、人口の規模、政治体制、経済体制、言語など、どれをとっても大きく異なります。また同じ国の中でさえ、民族や宗教が複雑にからみあい、異なる文化圏が共存している国もあります。そんな個性あふれるASEANの国々をご紹介します。



面積

単位：1万km²

日本	38
EU	446
ASEAN	449
中国	960
アメリカ	986

日本の約 **12** 倍

人口

(2018年)

単位：100万人

日本	126
アメリカ	328
EU	511
ASEAN	651
中国	1,405

日本の約 **5** 倍

名目GDP

(2018年)

ASEAN合計：2兆9,744億米ドル
世界合計：87兆5,046億米ドル

日本とのGDP比は約

日本	5.9%	中国	16.6%	EU	22.5%	アメリカ	23.3%	その他	28.3%
ASEAN	3.4%								

2:1

1人当たりGDP

(2018年)

単位：米ドル

ASEAN	4,570
中国	10,327
EU	38,514
日本	40,849
アメリカ	62,152

2008年のASEAN全体の1人当たりのGDPは、2,823米ドル

10年間で約 **2** 倍

貿易額

モノ+サービス
(2017年 輸出+輸入)

ASEAN合計：3兆1,213億米ドル
世界合計：44兆9,393億米ドル

日本	3.8%	ASEAN	6.9%	アメリカ	11.6%	中国	13.3%	EU	34.0%	その他	30.3%
----	------	-------	------	------	-------	----	-------	----	-------	-----	-------

日本の約 **2** 倍

注：面積、人数、金額は推定値。1人当たりGDPは名目GDPを人口で除して、日本アセアンセンターにて試算。中国統計は香港及びマカオを含む。
出典：各国政府統計局（面積）、IMF（人口、GDP）、UNCTAD（貿易額）

ブルネイ・ダルサラーム国

Brunei Darussalam



写真提供：ブルネイ政府観光局
オマール・アリ・サイフディン・モスク（右・左）

面積：5,765km²
人口：約43万人(2018年推定値)
首都：バンドルスリブガワン
政治体制：立憲君主制
主な言語：マレー語、英語
主な宗教：イスラム教
通貨：ブルネイ・ドル

資源豊かな平和の国

ボルネオ島の北西海岸に位置し、国土は三重県と同程度の大きさ。国民の約80%が敬虔なイスラム教徒です。1984年にイギリスから独立して以来、国王による統治で安定した内政を維持してきました。石油や天然ガスなどの豊かな地下資源に恵まれ、国民はその恩恵を受け医療費や教育費はすべて無料、個人に対する所得税もなく、高い生活水準を維持しています。現在では、これまで国家を支えてきたエネ

ルギー産業に依存しすぎることを避け、経済の多角化を進めています。ブルネイで生産された天然ガスの大部分は日本に輸出され、ブルネイにとって、日本は長年にわたる最大の貿易相手国であり、日本にとってもブルネイは重要なエネルギー供給国です。両国間では、技術協力、教育・文化面でも活発な交流が行われています。

68%

ブルネイの天然ガスの約7割は日本に輸出。日本が全世界から輸入する天然ガスの約5%を占めます。(2016年)

参考情報：ブルネイ首相府経済計画開発局

カンボジア王国

Kingdom of Cambodia



アンコール・トム



アプサラダンス

面積：181,035km²
人口：約1,625万人(2018年推定値)
首都：プノンペン
政治体制：立憲君主制
主な言語：クメール語
主な宗教：仏教
通貨：リエル

世界遺産アンコール遺跡をもつ森林の国

インドシナ半島の中央に位置し、母なる大河メコン川と東南アジア最大のトンレサップ湖の恵みによる豊かな自然をもつ国です。「森林の国」ともいわれ、北部国境地帯の大部分が森林におおわれています。国民の95%が仏教徒です。過去には長い戦乱・内戦に苦しみました。1991年に平和を実現、1993年の総選挙によって新政府を樹立しました。主要な産業は、肥沃な国土に恵まれた農業と世界遺産アンコール遺跡に代表される観光です。また、

ASEAN10カ国のほぼ中央に位置し、大メコン経済圏を形成するタイ、ベトナム、ラオスに隣接することに加え、メコン川を擁し、外洋にも面するといった好立地が、ASEAN地域の要衝として注目を浴びています。日本との関係は古く、朱印船貿易時代には日本町がありました。現在も日本は、アンコール遺跡の保存修復活動を始め、官民双方のさまざまなレベルで協力・交流を行っています。

5 倍

日本に渡航するカンボジア人
2012年：3,673人
2017年：17,857人
2017年のカンボジアから日本への渡航者は、5年前の約5倍。ASEAN 諸国の中でも突出した伸び率です。

参考情報：日本政府観光局